

# 健康友の会みみはら第35回総代会議案 (2022年度活動方針〈案〉)

ダイジェスト版

## メイン スローガン

## 友の会結成40周年(2025年3月)までに10万人の組織実現に向けて、 つながりを活かした「担い手づくり」「仲間ふやし」を！

## 2022年度 重点課題

- ①全ての戦争行為に抗議し、憲法を暮らしに生かし、平和と人権・いのちと暮らしを守って、誰もが健康で安心して住み続けられるまちづくりをすすめます。
- ②班を基礎に、支部を単位に、ブロックでの連携をすすめます。
  - ・「担い手ふやし」を最重要課題と位置づけ、友の会の輪をひろげる取り組みをすすめます。
  - ・引き続き、感染予防・災害対策に取り組みながら、新たな「友の会活動」にチャレンジします。
- ③「フレイル予防」(加齢による心身の虚弱予防)・「認知症予防」を活動の柱に、「地域まるごと健康づくり」「楽しい友の会活動」で健康づくり・仲間ふやしをすすめます。
- ④「ふれあい支え合いのまちづくり」活動に取り組み、「つながりを絶やさない・安心のネットワーク」を身近な支部・ブロックの範囲でひろげます。
- ⑤地域・自治体とも連携し、医療・介護・福祉の安心ネットワークをひろげます。
  - ・鳳クリニックの建替えを、同仁会・みみはらグループと力を合わせて成功させます。

## 憲法を暮らしに生かし、誰もが健康で安心して 住み続けられるまちづくりをすすめます

### ◎反核平和の課題

- ロシアによるウクライナ侵略に抗議し、すみやかなウクライナからの撤退・平和の実現を求めます。
- 日本国憲法を学び、憲法を変えさせない「9条改憲NO!」の運動をさらに強めます。
  - ・辺野古新基地反対、米軍基地撤去の運動に引き続き取り組みます。
- 日本政府に核兵器禁止条約への署名・批准を求め、「核兵器のない世界による安全」を実現する運動に取り組みます。
- ◎コロナ禍で鮮明になった社会保障や医療体制の問題を学び、一人ひとりが大切にされる社会・まちづくりに向けて取り組みをすすめます。
- 未曾有の大災害を引き起こし、健康に大きな影響を及ぼす気候危機についての学び、原発ゼロ・石炭火力発電に頼らないエネルギー政策への転換をめざす運動をひろげます。
- 引き続き、「安全・安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための請願署名」、「75歳以上医療費窓口負担2割化に反対する請願署名」に取り組みます。
- 消費税10%や大阪IR・カジノ、統一国保問題など、私たちの暮らしに直結する悪法に反対し、格差と貧困、子ども・高齢者支援に取り組みます。
- 南海トラフ地震に備え、国や自治体との連携を強め、「災害・防災に強いまちづくり」に取り組みます。
- 安心して住み続けられるまちづくりをすすめるため、堺社保協に結集し、地域や職場の具体的事例を持ち寄って自治体キャラバン行動にのぞみ、社会保障充実に向けて取り組みます。友の会として他団体への働きかけも積極的に行います。

## 班を基礎に、支部を単位に、ブロックでの連携をすすめます

- ブロック・支部を中心に、地域要求に根差した組織運営をすすめます。
- コロナ禍を経験しての新たな「たまり場」「班」活動を、創意工夫してすすめます。また、あらゆる世代の「願い(思い)」に見合った「多世代型」「複合型」の班会開催をめざします。
  - ・「班会」「健康チェック」開催をすすめるために、「班会・班活動交流会」(仮称)の開催を検討します。
- 「支部ふやし・支部づくり」は、重点区を西区・北区とし、2,000世帯を超える大規模支部の分割と空白地域での支部づくりに取り組みます。
- 会員がブロック・支部の「主体」となる体制づくりをめざし、事務局員の学ぶ場をふやして力量向上に努めます。
- ◎「担い手ふやし」を最重要課題と位置づけ、友の会の輪をひろげる取り組みをすすめます。
- 「つながり」をひろげ、2,300人の仲間ふやしにチャレンジします。
- 「協同基金」は、件数目標20,000件・金額目標26,900万円とします。
- 「担い手ふやし」では、友の会の活動とみみはらグループの事業を「知らせる」ことを重視した企画を開催し、「友の会大好き会員(人間)ふやし」・後継者づくりをすすめます。
- 「いつでも元気」は、各支部・職場での活用を工夫し、1,000部の普及をめざします。
- 共同組織拡大強化月間(10月～11月)に向け、9月に「強化月間スタート集会」を予定します。
- ◎「とも」の配達者ふやしと紙面の充実をさらにすすめます。

- 「10部を超えたら配達者さがし」を合言葉に、1,200人の配達者ふやしに取り組みます。
- 「身近でより参加しやすい紙面づくり」をめざし、紙面充実に向け、ブロック単位の編集委員選出や支部での取材協力者(例:通信員)づくりをすすめます。
- 「配達者交流会(懇親会)」などを再開し、配達者の交流を通じてネットワークづくりをすすめます。

## 「地域まるごと健康づくり」「楽しい友の会活動」 で健康づくり・仲間ふやしをすすめます

- ◎「健康づくり」や「フレイル予防」をテーマにした取り組みを通して、健康づくりをすすめます。
- 「フレイル・オーラルフレイル予防」「認知症予防」を重視した班会・サークル・健康講座の取り組みをすすめます。
- 「健康チェック」活動を重視し、5大がん検診をはじめとした健康診断の受診につなげます。
- 「健康チェック」や「健康講座」など、感染防止を徹底し、工夫をこらして取り組みます。「健康チャレンジ」は、「ウォーキングチャレンジ」なども取り入れます。
- 働く世代、子育て世代などの世代別・テーマ別の企画を計画し、多世代にわたる健康づくりをひろげます。

## 「ふれあい・支え合いのまちづくり」活動を支部・ブロック単位でひろげます

- ◎「つながりを絶やさない・ゆるやかな安心のネットワーク」を身近な範囲でひろげます。
- 「お元気ですか対話・訪問」を年間30,000件目標で取り組みます。
- 支部・地域での「お元気ですか対話・訪問」を通して、無料低額診療事業の紹介・普及に取り組みます。
- 支部は、地域の困難な方への「相談窓口」になれるよう、暮らしの制度や認知症などの学習会を計画し、表面化しにくい「困った」にも気づき、寄り添える力をつけるようにします。
- たまり場・センターに地域の人が気軽に足が運べるようにするため、開所日数をふやします。
- 「助け合い活動」では、NPO法人ともうずを軸に、介護事業所や自治会などと連携し、助け合いのネットワークを強化します。
- 大阪みなみ医療福祉生協の仲間や地域団体と共同して、「フードバンク」「フードパントリー」「こども食堂」開催にチャレンジし、「ゆるい(ゆるやかな)つながり」をひろげます。

## 地域・自治体と連携し、みみはらグループの医療・介護・福祉の安心のネットワークをさらにひろげます

- ◎「友の会結成40周年」に向け、これまでの取り組みを振り返り、これからの友の会について考える年とします。
- ◎鳳クリニックの建て替えを同仁会・みみはらグループと力を合わせて成功させます。
- 地域要求に積極的にこたえるため、みみはらグループの事業所づくりや運営への参加を強め、それを担う職員育成にも積極的に関わっていきます。

以上